株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
期末配当金受領株主確定日	1月31日
中間配当金受領株主確定日	7月31日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.imura.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）

株式に関する諸手続についてのご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C020779
VEGETABLE OIL INK 環境に配慮し、植物油インキを使用しております。
UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しております。

IMURA ENVELOPE CO.,INC.

第71期 中間報告書

2020年2月1日
▼
2020年7月31日

71 Imura Report

INDEX

株主の皆様へ 1
連結財務諸表 3
トピックス 5
IMURAコラム 6
メモルダーお届けのご案内 7
株式の状況・所有者別状況 9
会社の概要・役員・事業所 10

株式会社イムラ封筒　証券コード3955

株主の皆様へ

代表取締役社長　井村　優

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに第71期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を兼ね、事業の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、個人消費や企業活動が制限されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便市場においては、普通通常郵便物及びメール便の取扱数量は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、減少幅を拡大させており、また、ダイレクトメール市場の動向も大幅な縮小に転じており、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、「Give&Give&Give®（全ての人に最高の付加価値を届け続ける）」をテーマに掲げ、お客様に満足いただけるソリューションサービス分野への取り組みを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高はコロナ禍による日本経済の大幅な停滞に伴う需要の後退により116億59百万円（前年同期比6.5%減）となりました。損益面につきましては、前期より進めてまいりました生産体制の合理化と再構築（人員配置の見直し、機械設備の最適配置等）による原価低減や不採算工場の閉鎖等による固定費の削減、コロナ禍への対応として変動労務人件費や販売管理費等の削減、並びに不採算案件の見直し等の収益を重視した各種販売施策の浸透により収益性が大きく改善されたことから、営業利益は9億37百万円（前年同期比30.5%増）、経常利益は10億10百万円（前年同期比33.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億50百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2020年10月

セグメントの概況

パッケージソリューション事業

官需が発生するものの、経済活動停滞に伴うイベント告知等のDM用封筒を中心に需要が後退し、売上高は87億80百万円（前年同期比9.0%減）となりました。損益面では、上述の収益性の改善により、営業利益は6億63百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

メーリングサービス事業

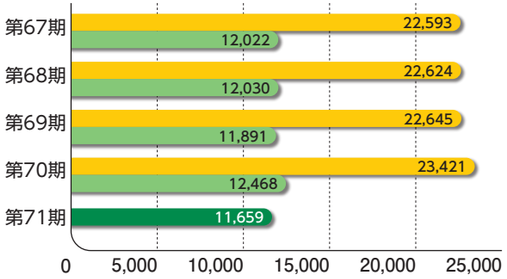
新規取引先の拡大並びに既存取引先への深耕活動に加え、官需の取り込みもあって、売上高は20億8百万円（前年同期比5.5%増）となりました。損益面では、内製化推進等による売上総利益率の改善に加え、増収効果もあって、営業利益は2億51百万円（前年同期比104.0%増）となりました。

その他

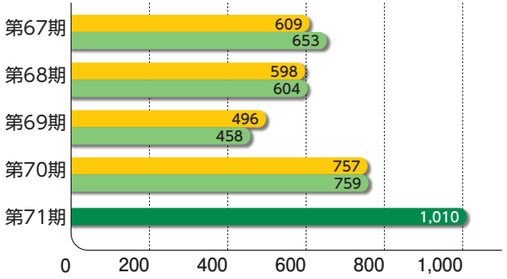
子会社2社がコロナ禍による需要後退の影響を受けたことにより、売上高は8億70百万円（前年同期比4.9%減）となり、営業利益は17百万円（前年同期比75.7%減）となりました。

財務ハイライト（連結）　●通期 ●第2四半期 ●当第2四半期

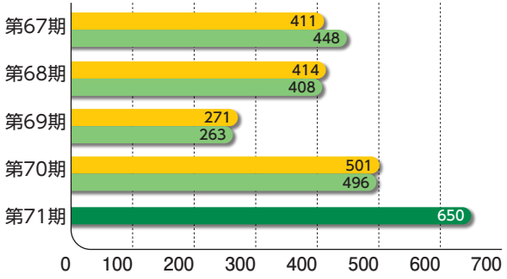
売上高（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する純利益（単位：百万円）



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科　目	前期末（2020年1月31日現在）	当第2四半期末（2020年7月31日現在）
資産の部		
流動資産	**8,304**	**8,689**
現金及び預金	2,344	3,028
受取手形及び売掛金	3,627	3,295
電子記録債権	672	646
たな卸資産	1,320	1,229
その他	339	489
固定資産	**9,705**	**9,743**
有形固定資産	**7,433**	**7,382**
建物及び構築物	1,491	1,395
機械装置及び運搬具	1,919	1,859
土地	3,655	3,639
その他	367	487
無形固定資産	**60**	**61**
投資その他の資産	**2,211**	**2,299**
投資有価証券	1,071	1,095
その他	1,139	1,203
資産合計	**18,009**	**18,432**

単位：百万円

科　目	前期末（2020年1月31日現在）	当第2四半期末（2020年7月31日現在）
負債の部		
流動負債	**4,036**	**4,113**
支払手形及び買掛金	1,184	881
電子記録債務	1,205	1,191
その他	1,646	2,040
固定負債	**381**	**386**
負債合計	**4,418**	**4,499**
純資産の部		
株主資本	**12,533**	**13,049**
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,366	1,368
利益剰余金	10,292	10,791
自己株式	△ 324	△ 308
その他の包括利益累計額	**1,007**	**832**
その他有価証券評価差額金	317	196
退職給付に係る調整累計額	689	635
新株予約権	37	37
非支配株主持分	13	13
純資産合計	**13,591**	**13,932**
負債純資産合計	**18,009**	**18,432**

資産の部

現金及び預金の増加などにより、前期末に比べ4億22百万円増加し、184億32百万円となりました。

負債の部

未払法人税等の増加などにより、前期末に比べ81百万円増加し、44億99百万円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ3億41百万円増加し、139億32百万円となりました。
なお、自己資本比率は前期末に比べ0.1ポイント上昇し、75.3%となりました。

連結損益計算書

単位：百万円

科　目	前第2四半期（2019年2月1日から2019年7月31日まで）	当第2四半期（2020年2月1日から2020年7月31日まで）
売上高	**12,468**	**11,659**
売上原価	9,493	8,633
売上総利益	**2,975**	**3,026**
販売費及び一般管理費	2,256	2,088
営業利益	**718**	**① 937**
営業外収益	62	82
営業外費用	21	9
経常利益	**759**	**1,010**
特別利益	0	0
特別損失	12	② 73
税金等調整前四半期純利益	**747**	**937**
法人税、住民税及び事業税	201	305
法人税等調整額	48	△18
四半期純利益	497	650
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	**496**	**650**

① 営業利益

収益を重視した各種販売施策の浸透により収益性が大きく改善されたことに加えて、販売費及び一般管理費の削減を進め、営業利益は2億19百万円の増加となりました。

② 特別損失

山口美和工場閉鎖に伴う減損損失として56百万円を特別損失に計上いたしました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科　目	前第2四半期（2019年2月1日から2019年7月31日まで）	当第2四半期（2020年2月1日から2020年7月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13	1,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217	△170
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△674	738
現金及び現金同等物の期首残高	2,386	2,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,712	2,937

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は13億29百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益9億37百万円、売上債権の減少額3億57百万円、減価償却費2億94百万円、資金の減少要因として仕入債務の減少額3億16百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の支出は4億20百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億64百万円、投資有価証券の取得による支出2億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の支出は1億70百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億51百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出15百万円によるものです。

配当金について

当期の中間配当につきましては、当初の予定通り見送らせていただくこととなりました。

当社のSDGsへの取り組み

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」において
「持続可能な開発目標（SDGs）」が決議され、
2030年までに地球規模で解決すべき課題として
17の目標と169のターゲットが示されました。
当社でも企業行動憲章に基づき、これらの課題解決に向けて、
できることから積極的に取り組んでいきます。
なお、当社の取り組みについては、外務省のホームページ
「JAPAN SDGs Action Platform」にも紹介されています。

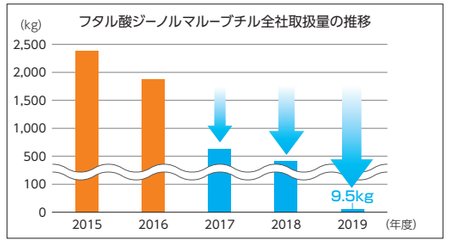
Japan.
Committed
to SDGs

重点活動テーマ（一部抜粋）

～ SDGs達成への貢献　2021年のあるべき姿 ～

有害性が懸念される化学物質を使用している部材の利用を取り止める。

当社で製造している封筒に使用している糊の一部に、PRTR法（化管法）の第一種指定化学物質である「フタル酸ジーノルマループチル」が含まれているものがあり、それらの糊の使用量削減に取り組んできました。
糊の改良を続けてきた結果、2017年度以降は、報告対象にはならない量まで削減することができました。
まだ残っている第一種指定化学物質についても、改善を続けます。



山口美和工場の閉鎖について

山口美和工場は1992年9月の操業以来、主に中国・四国地方向けの供給拠点として稼働してまいりましたが、生産機能の選択と集中により生産性向上を図るため2020年6月30日をもって閉鎖しましたことをご報告いたします。今後も株主の皆様への利益還元を図るべく、組織改編を含めた構造改革を進めてまいります。

ニッポン「近代郵便」始め

郵政博物館の収蔵品から

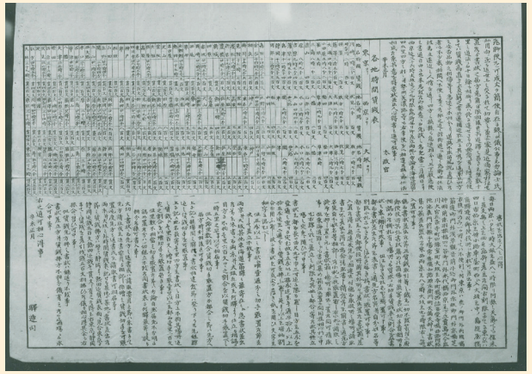
第3回

誰でも自由に平等に利用、「郵便」のはじまり。

手紙に切手を貼ってポストに投函すれば、全国どこへでも確実に届けられるという、今では当たり前の郵便制度。しかし、その制度が始まった時には、手紙の出し方から手ほどきする必要があったようです。

近代的国家づくりを急いでいた明治政府が、東京～京都～大阪間で郵便制度を創業したのは、維新からまもない明治4（1871）年3月1日のこと（翌年には北海道を除く全国で実施）。宿駅（しゅくえき）を郵便局にするなど、江戸時代の飛脚のシステムをそのまま流用することで、早い実現となったようです。

それまで一般庶民が気軽に利用できるものではなかった飛脚と異なり、新しい時代の郵便は、身分などに関係なく、誰もが低料金で平等に利用できるものとなりましたが、一般の人には初めて知る制度です。まず、郵便の創業を知らせる「太政官布告」が発せられ、その内容は創業時のポスト「書状集め箱」に掲示されました。そこには各駅の配達時間や料金が示されているほか、「書状を出す人の心得」までが記され、



太政官布告

書状の表に宛先と差出人である自分の名前を書くこと、あらかじめ切手を購入し貼って投函することなどまでが細かく教示されました。

また、書状の到達時間が不規則だった飛脚と違い、郵便制度では、郵便物の発着時間を正確に管理するため、明治7（1874）年から各地の郵便局に最新式の掛け時計「八角時計」が備えられました。時計というものが珍しかった時代、それを見るためだけに、わざわざ遠くから郵便局に出かけた人もいたそうです。

創業当時の駅逓寮（郵便の役所）

各郵便局に備えられた八角時計

資料提供・監修
郵政博物館　東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ9F
TEL:03-6240-4311　https://www.postalmuseum.jp/

メモルダーお届けのご案内

お申込みはがきを
ご返送いただいた株主の皆様へ

2021年版 メモルダーをお届けいたします

株主様の日頃のご支援に感謝し、今年も当社オリジナル商品のポケット付きカレンダー「メモルダー」をお届けいたします。お好きなメモルダーをお届けいたしますので、同封のお申込みはがきにてご希望の商品番号をお知らせください。「メモルダー」のお届けは、7月31日現在の株主名簿に記載または記録された**1単元（100株）以上**ご所有、かつお申込みはがきをご返送いただいた株主様に限らせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願い申しあげます。

お申込み方法

1単元（100株）以上ご所有の株主様には、お申込みはがきを同封しておりますので「お名前」「電話番号」「株主番号」「メールアドレス（任意）」「ご希望の商品番号（1～5の中から1点）」をご記入のうえ、ご返送ください。

■お申込み受付期限
2020年10月末日（当社到着分）

■お届け
2020年12月上旬の予定

はがきのご返送がない場合はお送りいたしませんので、何卒ご了承くださいますようお願い申しあげます。なお、お申込み時に特にご指定のない場合は[1.実用メモルダー]をお届けいたします。

商品番号 1

実用メモルダー

人気のスタンダードタイプ

カラーユニバーサル
六曜 旧暦
二十四節気

見開きサイズ　：245×443mm
ポケット数　　：12枚

カラーユニバーサルデザイン認定製品※1

※1.色覚の多様性に配慮し、平日と休日の区別がしやすいよう、色づかいを工夫しています。

商品番号 2

クラフトメモルダー

クラフト調の壁かけタイプ

VEGETABLE OIL INK

見開きサイズ　：245×443mm
ポケット数　　：12枚

商品番号 3

花メモルダー

季節感のある壁かけタイプ

見開きサイズ　：270×522mm
ポケット数　　：12枚

商品番号 4

卓上メモルダー

実用性が高い卓上タイプ

カラーユニバーサル
UD FONT

前月・翌月・翌々月
カレンダーがついています

サイズ　　：185×138mm
ポケット数　：13枚(有効数12枚)

カラーユニバーサルデザイン認定製品※1

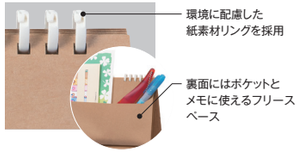
商品番号 5

ナチュラル卓上カレンダー

環境配慮の卓上タイプ

VEGETABLE OIL INK
UD FONT

前月・翌月・翌々月
カレンダーがついています



見開きサイズ　：185×138mm
ポケット数　　：13枚(有効数12枚)

株式の状況・所有者別状況

株式の状況

（2020年7月31日現在）

発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式の総数（自己株式 583,129株を含む）	10,729,370株
株主数（前期末比219名減）	1,975名

大株主

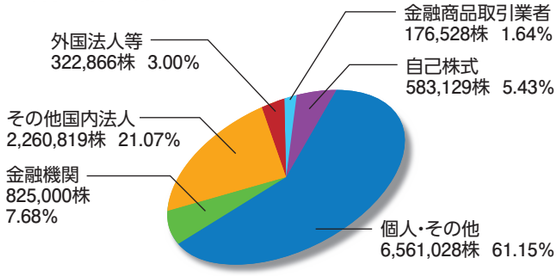
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
イムラ封筒社員持株会	736,652	7.26
井村　優	434,200	4.27
有限会社ケイ・アンド・アイコーポレーション	385,250	3.79
有限会社アイ・エム興産	358,750	3.53
井村 守宏	319,100	3.14
井村 美和	318,000	3.13
井村 達男	302,000	2.97
日本紙パルプ商事株式会社	300,000	2.95
井村 光一	293,500	2.89
井村 美保子	272,500	2.68

(注)1.当社は自己株式583,129株を保有していますが、上記大株主からは除いております。
2.持株比率は自己株式数(583,129株)を控除して算出しております。

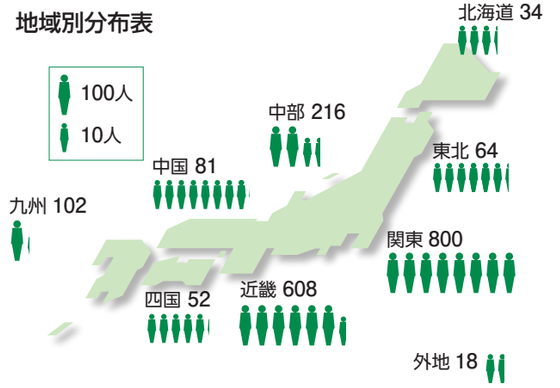
所有者別状況

（2020年7月31日現在）

所有者別分布表

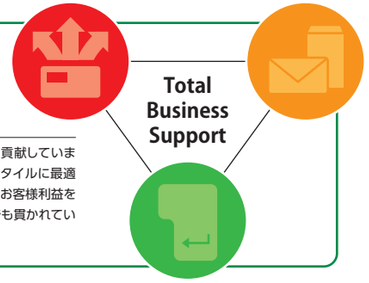


地域別分布表



イムラだからできる、企業のトータルビジネスサポート。

独創的な商品を生み出す封筒事業から、メーリングサービス、ITシステム提案まで。イムラ封筒はビジネスコミュニケーションをトータルサポートします。



メーリングサービス事業

封筒の新しい価値をお客様に提案するサービスです。各種DMの企画から宛名印刷・封入・加工・発送、顧客リスト管理まで総合的なビジネスサポートを実現。お客様のコミュニケーション活動の効率化やコストダウンを強力に支援します。

パッケージソリューション事業

数々の新商品を提案する開発力と、ロットの大小に関わらず常に安定した品質を低コストで提供する生産力、お客様のニーズに迅速・的確に応える機動力を備えています。コミュニケーションの可能性を追求し続けるイムラ封筒のコア事業です。

情報システム事業

IT分野でも、イムラ封筒は社会に貢献しています。お客様のニーズやビジネススタイルに最適なシステムやソフトウェアを提供。お客様利益を常に最優先する姿勢はこの分野でも貫かれています。

会社の概要・役員・事業所

会社の概要

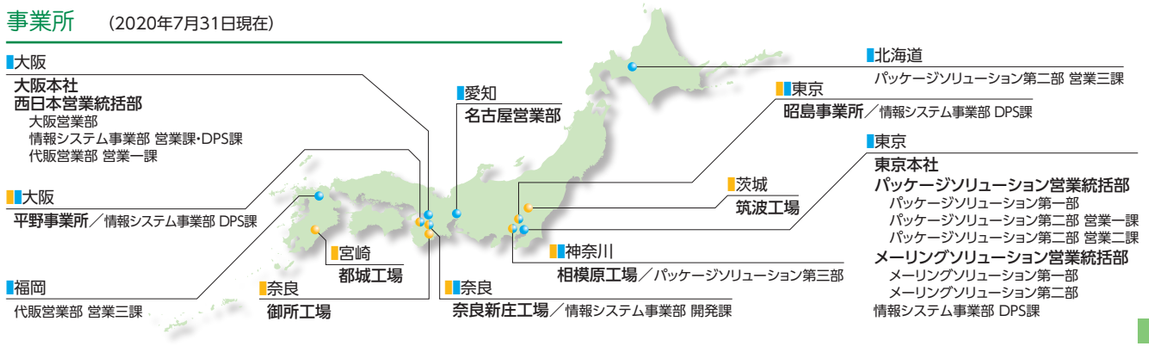
（2020年7月31日現在）

商号	株式会社イムラ封筒（英文名:IMURA ENVELOPE CO.,INC.）
本店	〒542-0076　大阪市中央区難波五丁目1番60号 なんばスカイオ18階 電話(06)6586-6121(代表)
創業	大正7年7月
設立	昭和25年2月
資本金	1,197,986,033円
事業内容	1.封筒、袋などの紙製品、文具の製造、販売及び事務用品、日用雑貨品の販売 2.不織布、合成樹脂シートを素材とする封筒、袋類、建築・造園資材の製造、販売 3.印刷物などの物品の保管、封入、包装、梱包及び発送業務の代行 4.倉庫業 5.印刷、封入及び包装用機械の企画、研究開発、製造、販売及び輸出入 6.ダイレクトメールの発送及び請求書の発行等に関する情報処理業務の受託 7.広告代理業務 8.コンピュータ及び周辺機器、事務用機器の販売、教育指導及び保守管理 9.コンピュータソフトウェアの企画、開発、制作、販売及び保守管理 10.インターネットへの接続サービス業務 11.電気通信工事業 12.医療用事務機器及び資材の販売 13.セミナーの企画、立案、制作、斡旋及び運営 14.前記各号に付帯する一切の業務
従業員数	連結 883名　単体 817名　(2020年7月31日現在)
子会社	東杏印刷株式会社　株式会社メトロテック

役員

（2020年7月31日現在）

取締役会長	井村守宏
代表取締役社長 最高経営責任者(CEO)	井村　優
取締役副社長 最高執行責任者(COO)	瀧口　斉
取締役専務執行役員	吉川伸昭
取締役常務執行役員	食野直哉
取締役	白田　敬
取締役	城谷満江
常勤監査役	知念　等
監査役	山田拓幸
監査役	清水健一
上席執行役員	炭家裕之
上席執行役員	山田　実
上席執行役員	森田　旭
執行役員	根岸秀尚
執行役員	下鳥義明
執行役員	分領雅之
執行役員	奥谷勇二

事業所

（2020年7月31日現在）